

吉野製材工業協同組合

住 所	〒639-3114 奈良県吉野郡吉野町丹治11番地		
U R L	https://yoshinowing.com/		
設 立	昭和25年1月	主 な 業 種	製材業
組 合 員 数	34人	出 資 金	20,400千円

■背景・目的

吉野材は、非常に強くて艶の良い特徴から古来より住宅用建材として重宝されていたが、年々木造家屋が減少していることに加えて低価格材の普及が進んでおり、その需要は減少の一途を辿っている。

需要減少の一因として、木材問屋への競り売りのみで販売経路が非常に狭かったことと、認知度に比例して「高い」「販売場所が分からない」といった悪い印象も定着していることが考えられ、正しく吉野材を理解してもらい、販売経路を広げることが急務になっていた。

■取組みの手法と内容

本事業は「吉野林業のSPA化」を最終長期目標とし、その足掛かりとして販路開拓・情報発信のマーケティング拠点「YOSHINO-WING」を構築。行政事業として委託された専任者が組合に入職し、吉野ウイング事業部を発足した。

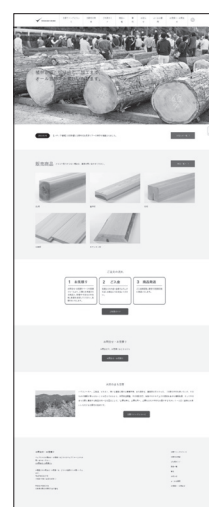
「YOSHINO-WING」では、今までは木材問屋対象の競り売りのみだった販売方式を改め、住宅メーカーや工務店、一般人でも購入できるよう公式サイト上でオンライン直販を行う。従来は競り売りのため「価格」は不透明な部分があったが、汎用主力材の価格をオープンにして購入のハードルを下げる工夫を行った。見積依頼・注文が入った際は吉野ウイング事業部がコーディネーターとなり、依頼内容に適した組合員への斡旋を行う体制を構築。組合内での「横」の連携を強化し、エンドユーザー増加による加工材ニーズ等にも共用工場の新設・拡張で応じ、品質向上・均一化を狙う。

また直販体制の構築に加え、体験イベントなどの告知・実施も行い、吉野材のイメージ向上・拡散に取り組んでおり、国際的イベント「WOODRISE 2021 KYOTO」の出展ブースに使用する材として吉野材の提供依頼があるなど、その効果も表れ始めている。

今後は年々縮小する住宅建材市場だけにこだわらず、内装材・什器・家具など、吉野材の「艶がある美しさ」が活きる新分野を開拓し、組合内の「横」連携だけではなく、製造・加工・流通・販売など「縦」連携の充実を目指す。

■成果とその要因

課題解決の行政事業モデルケースとして、委託された専任者が組合に入職している。セオリーに縛られず、今までにない新規事業が行政（県・町）のバックアップの元で諸々の企画・調整・情報収集・折衝など比較的スムーズに進行できたことは非常に大きな達成要因と言える。



Point!

奈良県行政事業のモデルケースとなるバックアップの充実した委託専任者による事業運営と、業界未経験の柔軟な発想・対応力による活動力。